

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・ハードディスクに保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)にしたがって走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- 本製品には、株式会社リコーがデザイン制作したリコーJetフォントを使用しております。

ACCESS™






NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

 アドバイス	<ul style="list-style-type: none">● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
 お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示しています。
MENU	本体のパネル部のボタンを表します。
目的地	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
	操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。

使用上の注意事項等

- デュアルサイズHDDナビコンボの操作
 - ・ 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
 - ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

このシステムでできること

このシステムには、快適なドライブをするための様々な機能が用意されています。それぞれの機能の特長をご理解いただき、正しくご使用ください。

ナビゲーションP45

表示が見やすくわかりやすい、タッチパネルコントロールと見やすい画面と音声で、わかりやすいルート案内(道案内)を行ないます。

VICSP150

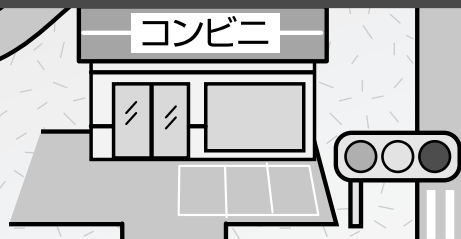
渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

ETC **別売品**P148、149、258~263

高速道路料金所で現金やクレジットカードなどの受け渡しを行わずに通過することができます。

オーディオ・地上デジタルテレビ別冊

簡単な操作でラジオ、CD、Music Rackなどを聞いたり、停車中には、地上デジタルテレビ、DVDビデオ、外部入力の映像などを見ることができます。



止まれ

こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。まずは行き先を設定してみましょう。ここでは、ジャンルから選んで、行き先に決定します。

1



MENU ボタンを押し、
目的地 の **ジャンル** ボタンを
タッチします。

2



リストから“ジャンル”を選択し、
タッチします。
さらに細かく“ジャンル”のリストが表
示された場合は種類を選びタッチし
ます。

8



ルート案内が開始されます。

7



全ルート表示され、**案内スタート**
ボタンをタッチします。

画面上のボタンを選ぶには？

画面ボタンを直接タッチして選びます。



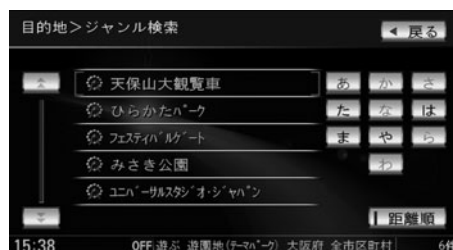
3



リストから“都道府県名”を選択し、タッチします。

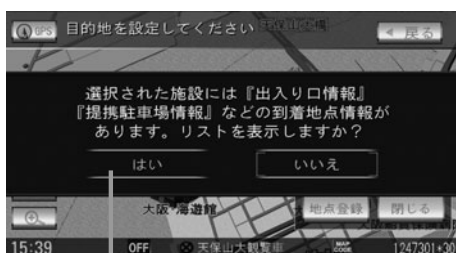
さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選びタッチします。

4



リストから“施設”を選択し、タッチします。

6



* 到着地点情報画面が表示された場合、**はい** ボタンをタッチします。

5



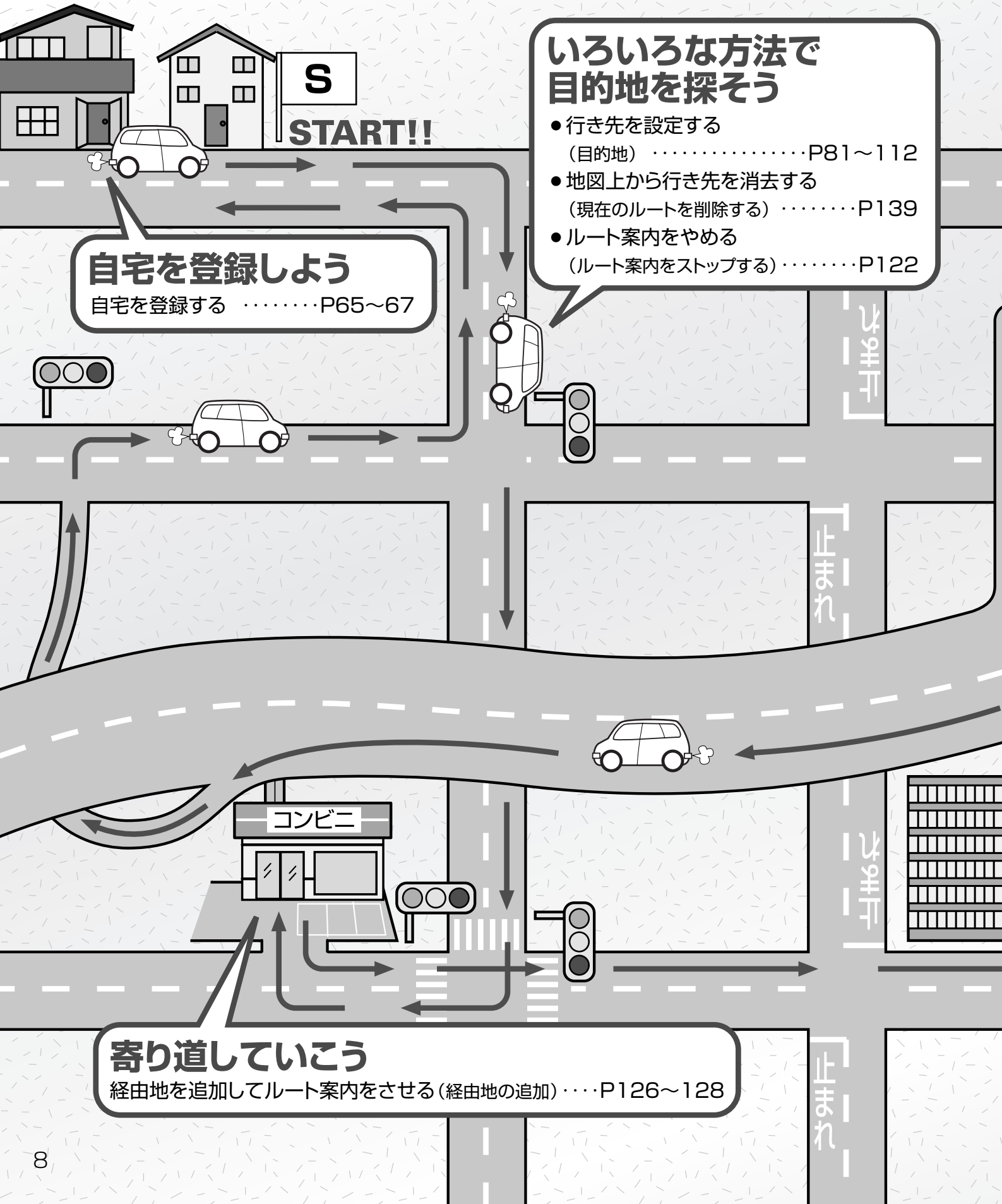
施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して**目的地セット** ボタンをタッチします。



* 印：**はい** ボタンをタッチすると、出入り口情報などの情報リスト画面が表示されます。操作手順については120ページのアドバイスをご覧ください。

ナビでドライブ!

ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。



自宅を登録しよう

自宅を登録する ……P65~67

いろいろな方法で 目的地を探そう

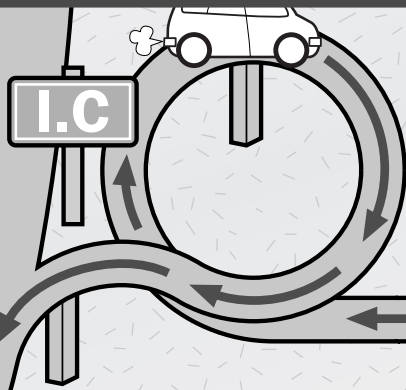
- 行き先を設定する
(目的地) ……P81~112
- 地図上から行き先を消去する
(現在のルートを削除する) ……P139
- ルート案内をやめる
(ルート案内をストップする) ……P122

寄り道していこう

経由地を追加してルート案内をさせる(経由地の追加) ……P126~128

わかりやすくナビゲーション

- ルートから外れてしまったら(再探索) ……P143
- VICSで渋滞情報を見る
(表示について) ……P152~155
- 交差点拡大図を表示する ……P201



自宅へ帰りたい

自宅まで探索するには…P69

高速道路も大丈夫

- 有料道路を優先してルートを探索する
(探索条件の変更) ……P130、214~217
- 高速道路情報を見る
(ハイウェイモードを表示する) ……P202、203
- ETCを利用する
……………P148、149、258~263



見やすい地図にするには?

- 地図画面の見かた(代表的な画面の表示内容について) ……P48、49
- 地図を拡大/縮小する ……P50
- 地図表示(方位)を切り替える ……P53、54
- 地図を動かす(地図スクロール) ……P55、56
- 右画面に地図を表示する ……P70

このシステムを使いこなすヒント

● 進行方向を上にして地図を表示したい

地図表示(方位)を切り替える・・・P53、54

● よく行く場所を登録したい

地点を登録する・・・・・・・・・・・・・・P63、64

● いろいろな行きかたを同時に見たい

1ルート探索・複数ルート探索をする・・・P118～121

● 探索したルートの全体を見よう

現在のルートを表示する・・・P132、133

● VICS情報を利用したい

VICS情報を見る・・・・・・・・・・・・・・P150～175

● ETCの利用状況を見たい **別売品**

履歴を確認する・・・・・・・・・・・・・・P148

このシステムを便利に使いこなすためのいろいろなヒントをご紹介します。

● **エコドライブ度を評価したい**

エコドライブ情報を設定する・・・P180～184

● **ガソリンスタンドやコンビニなどのマークを表示させて目印にしたい**

ランドマークを設定する・・・・・・P209、210

● **走ってきた道を表示させたい**

軌跡を使う・・・・・・・・・・・・・・・・P240～242

● **案内音量を大きくしたい**

音声案内の音量を調整／案内設定をする・・・P223～226

● **次のオイル交換は？**

メンテナンス情報を設定する・・・P246～249

●音声はそのまま、画面だけ消したい

音声はそのまま画面を消す ……P281

●ルート案内しながら音楽を聞きたい

ナビゲーション画面を表示したままで
音楽を聞く ……P283

●ナビとオーディオを同時に表示したい

右画面に地図／情報を表示する…P70～75

別冊

●Music Rackを聞こう

●CDを聞こう

●ラジオを聞こう

●SDカード／USBメモリ

デバイスを接続して音楽を聞こう

●iPodを接続して音楽を聞いたり、
映像を見よう

●DVDビデオを見よう

●休憩してテレビを見よう

目次(1)

本書の見かた	4
このシステムでできること	5
こんなにかたん！行き先を決めよう	6、7
ナビでドライブ！	8、9
このシステムを使いこなすヒント	10~12
目次	13~16

はじめに P17~	安全上のご注意	18、19
	使用上のお願い	20~24
	主な特長	25~32
	オーディオ／テレビ／ラジオの 設定について	33
	GPS衛星の受信と測位	34
	GPS (Global Positioning System) について	34
	受信しにくい場所について	34
	受信するまでの時間について	34
	自律航法とマップマッチング	35
	現在地の誤差について	35
	自律航法&マップマッチング	35
	学習度と現在地	35
	ディスクの取り扱いかた	36、37
	ディスクを入れる／取り出すには	38
	ディスクを取り出すには	38
	SDカード／USBメモリデバイスに ついて	39、40
	SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる／取り出すには	42	
SDカードを取り出すには	42	
ディスプレイ部の角度を調整する	43	
各部の名称とはたらき	44	

ここだけ読んで使えます P45~	地図を表示するには	46、47
	現在地表示について	47
	地図画面の見かた	48、49
	代表的な画面の表示内容について	48
	地図を拡大／縮小する	50
	地図の縮尺レベル	51
	現在地を表示するには	52
	表示された現在地が実際の現在地と 違う場合は	52
	地図表示(方位)を切り替える	53、54
	見たい地域を探す	55~57
	地図を動かす(地図スクロール)	55、56
	スクロールの微調整をする	57
	メニュー項目一覧	58、59
	Quick機能について	60、61
	現在地表示時に Quick ボタンを タッチした場合	60
	地図スクロール時に 設定 ボタンを タッチした場合	61
	メニューの基本操作	62
	地点を登録する	63、64
	登録地点について	64
	自宅を登録する	65~67
クイックルート探索をする	68、69	
現在地から目的地までのルート を探索する場合	68	
現在地から自宅までのルート を探索する場合	69	
右画面に地図／情報を表示する	70~75	
Quick MENUの設定を変える	76、77	
音声案内について	78、79	

目的地 P81~	名称で探す[施設50音検索]	82~85
	電話番号で探す	86~88
	個人宅の電話番号を入力した場合	87
	周辺地図が表示された場合	88
	住所で探す	89~92
	施設のジャンルから探す	93~95
	自宅周辺の地図を表示する	96
	周辺にある施設から探す	97~99
	表示できる施設	100~102
	登録地点で探す	103、104
	目的地履歴の中から探す・ 削除する	105、106
	地名から探す[地名50音検索]	107、108

目次(2)

目的地

郵便番号で探す	109
緯度・経度で探す	110
マップコードで探す	111
地図から探す	112

ルート

P113~

ルート設定について	114~116
ルート探索について	115
細街路探索について	116
1ルート探索・複数ルート探索をする	117~121
1ルート探索をする	118~120
複数ルート探索をする	121
ルート案内をストップ/スタートする	122
ルートを変更する	123~130
出発地の変更	123、124
目的地の変更	125
目的地の追加	126
経由地の追加	126~128
経由地の変更/削除	129
経由地/目的地など地点の入れ替え	129
探索条件の変更	130
前方の道が通れない(迂回探索)	131
現在のルートを表示する	132、133
ルート詳細情報を表示するには	132
デモ走行をする	134
経由地をスキップする	135
登録ルート	136、137
保存したルートの呼び出し	136
保存したルートの削除	137
現在のルートを保存する	138
現在のルートを削除する	139
渋滞予測ルート探索をする	140~142
ルートから外れてしまったら(再探索)	143
渋滞地点を確認する	144

情報

P145~

渋滞予測地図を見るには	146、147
ETC情報を見るには	148、149
交通情報(VICS情報)/ 一般情報の受信について	150、151
交通情報(VICS情報)について	152~155
VICS情報の更新に伴う表示変更について	152
交通情報(VICS情報)とは	152
表示について	153、154
マーカー一覧表	155
VICS放送局	155

情報

一般情報について	156、157
一般情報とは	156
表示について	156
一般情報の内容(番組)について	156
一般情報放送局	157
操作の前に	158
FM多重の項目一覧	158
操作画面について	158
交通情報/一般情報を表示するには	159
操作の流れ	159
情報の消去について	159
受信する情報(交通情報/一般情報)を選ぶには	160、161
交通情報(文字情報)/一般情報を見るには	162、163
交通情報(図形情報)を見るには	164
緊急情報を見るには	165、166
緊急情報について	166
選局するには	167~172
自動選局	167、168
手動選局	169、170
エリア選局	171、172
放送局をプリセット(保存)するには	173~175
プリセットした放送局を呼び出すには	174
プリセットした放送局に上書きするには	175
ビーコン情報を見るには	176
ビーコンの項目一覧	176
ビーコン交通情報を見るには	176
地図画面について	176
ビーコンの文字情報/図形情報(簡易図形)を見るには	177
ビーコンの緊急情報/旅行時間情報を見るには	178、179
緊急情報について	179
エコドライブ情報の設定をする	180~184
QQコールを利用する	185
QQコールとは	185
QQコールを利用するまでの流れ	185
QQコールを表示する	186

NAV I 設定

P187~

メイン画面(地図)の設定を
 変える188、189
 右画面地図表示の内容を
 設定する190、191
 3Dの角度を調整する192、193
 地図の色を変える194、195
 表示項目の設定を変える196~198
 ルート案内画面の設定を変える 199~208
 全ルートを表示する/しないにするには...199
 設定ルートの色を選ぶには200
 交差点情報を表示する/しないにするには...200
 交差点拡大図を表示する/しないにするには...201
 ルート情報を表示する/しないに
 するには202、203
 ハイウェイモードを表示する/
 しないにするには202、203
 方面看板を表示する/しないにするには...204
 リアル3D交差点を表示する/しないに
 するには205
 JCTビューを表示する/しないにするには...206
 ETCレーンを表示する/しないに
 するには206、207
 AV画面中の案内割り込みを表示する/
 しないにするには207
 右画面AV中にルート案内を表示する/
 しないにするには208
 ランドマークを設定する209、210
 カーマークの種類を変える.....211
 現在地(自車)の位置を変更する...212、213
 ルート探索条件の設定をする ...214~217
 VICS表示の設定をする.....218、219
 レベル3表示時の“矢印表示の点滅する/
 しない”について219
 ビーコン車種設定について.....220
 ビーコンの割り込み表示を設定する ...221、222
 音声案内の音量を調整/
 案内設定をする223~226
 音声案内の音量を調整するには223
 音声案内を止めるには223
 合流案内/踏み切りの案内設定を変えるには...224
 専用レーン案内の案内設定を変えるには 224
 高速走行時の音声切り替え設定を変えるには225
 VICS案内の設定を変えるには225
 平均速度を設定する.....227
 登録地点の編集/見る228~233
 登録地点の並び替えをする234、235

NAV I 設定

自宅/登録地点の地図を呼び出す...236、237
 自宅/登録地点を削除する238、239
 軌跡を使う240~242
 軌跡の記録するには240
 軌跡の記録を止めるには241
 軌跡の表示を止めるには241
 軌跡を表示するには241
 軌跡を削除するには242

システム設定

P243~

オプションボタンの設定をする...244、245
 機能の内容について245
 メンテナンス情報を設定する ...246~249
 メンテナンス情報のお知らせを止めるには...249
 メンテナンス情報の設定を消去するには...249
 画像を見る250、251
 画像を追加する252~254
 画像をSDカード/USBメモリーに
 コピーする255~257
 ETCの各機能を設定するには ...258、259
 ETCについて260
 ETCの基本操作261
 ETCを起動する261
 ETCカードを取り出す261
 ETCを利用するには262、263
 料金所通過表示について262
 予告案内/警告表示について262、263
 フロントカメラ/コーナーカメラ映像を
 表示するには264~269
 フロントカメラ/コーナーカメラの
 設定をする264、265
 フロントカメラ/コーナーカメラ映像を
 表示するには266
 リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて
 使用する場合266
 フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する...267
 コーナーカメラガイドを表示するには...267
 コーナーカメラガイドの見かた ...268、269
 カメラの映像について269
 リアカメラ映像を表示するには 270~272
 リアカメラ映像を表示するには270
 リアカメラガイドを表示するには270
 リアカメラガイドの見かた271
 警告文の位置を下げるには272
 カメラの映像について272
 キー操作音を設定する.....273
 データを初期化(消去)する274、275

目次(3)

その他

P277~

壁紙と色合いを変える	278
画質調整のしかた	279、280
明るさ調整の場合	279
コントラスト調整の場合	280
色の濃さ調整の場合	280
色合い調整の場合	280
初期値に戻すには	280
音声はそのまま画面を消す	281
ボタンの照明について	281
ナビゲーション画面から他のモードに 替える	282
ナビゲーション画面を表示するには	282
ナビゲーション画面を表示したままで 音楽を聞く	283
音楽／音声の再生を止めるには	283
リモコンを使う	284~299
安全上のご注意	284、285
使用上のご注意	285、286
リモコンに電池を入れる	287
リモコンをホルダーから取りはずす	288
リモコンをホルダーに収める	288
リモコンの主な便利機能	289
各部の名称とはたらき	290~297
リモコンの10キーで文字を入力するには	298
10キーでの文字の入力のしかた	299
ルート案内時の注意点	300~303
出発地・経由地・目的地の 設定について	304、305
経由地、目的地の登録のポイント	304
経由地を使って上手にルートを作る	305
地図ソフトについて	306~309
地図に表示される記号	310、311
市街地図(5m/12m/25m/ 50mスケール)の収録エリア	312~315
細街路(主要市区町村道路)探索エリア	315
VICSの概要	316、317
VICS情報有料放送 サービス契約約款	318、319
故障かな?と思ったら	320~324
こんなメッセージが出たときは	325

その他

初期設定一覧	326、327
別売品(システムアップ)に ついて	328、329
主な仕様	330
構成内容	331、332
保証/アフターサービスについて	333

索引

P335~

索引	336~338
----	---------

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

はじめに



安全上のご注意	18、19
使用上のお願い	20~24
主な特長	25~32
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	33
GPS衛星の受信と測位	34
GPS(Global Positioning System)について	34
受信しにくい場所について	34
受信するまでの時間について	34
自律航法とマップマッチング	35
現在地の誤差について	35
自律航法&マップマッチング	35
学習度と現在地	35
ディスクの取り扱いかた	36、37
ディスクを入れる／取り出すには	38
ディスクを取り出すには	38
SDカード／USBメモリデバイスについて	39、40
SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる／取り出すには	42
SDカードを取り出すには	42
ディスプレイ部の角度を調整する	43
各部の名称とはたらき	44

安全上のご注意




●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。


注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと傷害を受ける可能性があるもの


また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

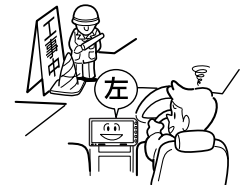
-  : △は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。
-  : ⊘は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。
-  : ●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。


警告

-  **テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。**
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

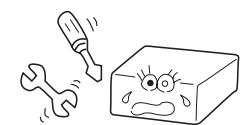



-  **実際の交通規則に従って走行してください。**
ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規則、道路標識に従って走行してください。





-  **当商品を分解したり改造しないでください。**
故障の原因となることがあります。

分解禁止



-  **フロントカメラ／コーナカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。**
直接目視による安全確認をしながら運転してください。

-  **リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。**
後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。

-  **事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。**
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。



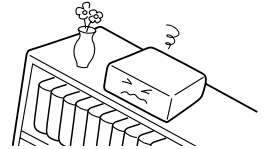
⚠ 注意

- ⊘ 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ⚠ 運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車して使用してください。
テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

- ⊘ 本機を車載用以外としては使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。



- ⚠ 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



- ⊘ 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

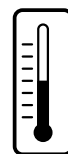
- ⊘ 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

- ⚠ 本機の放熱部に手を触れないでください。
放熱部の熱でやけどをする場合があります。

使用上のお願い(1)

温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなる場合がありますので、車内の温度を下げてからお使いください。



結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、販売店にご相談ください。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびなどの症状がみられることがあります。振動が止むと通常の動作に戻ります。



ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなる場合があります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0℃以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

車のエンジン停止中/アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



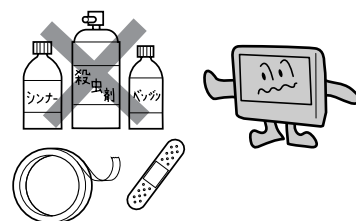
お手入れについて

<ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。手で押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。)ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

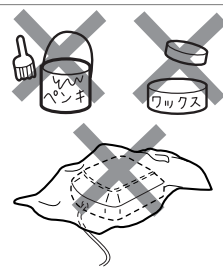
<本機の清掃>

- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



GPSアンテナについて

- GPSアンテナにペンキや車のワックスなどを塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなります。



フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布でふいてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

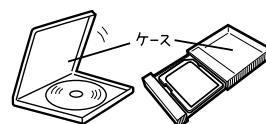
- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任をおいかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
☑ 「データを初期化(消去)する」 274、275ページ
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のデータや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地点など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

使用上のお願い(2)

その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
- ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めの販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- 操作パネルの開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
- 操作ボタンや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいで、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因となります。

- 寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このような時はただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ディスク／SDカード挿入口等や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 本機がぬれたり、本機の中に水が入ったりしないようご注意ください。火災や感電の原因となります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 安全運転の配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車してください。



使用上のご注意(3)

スマートキーの動作について

スマートキーが装着されている車両では、スマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

主な特長(1)

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

メンテナンス機能

日付・距離を設定すると、車のオイルや消耗品の交換、あるいは記念日などがきたことをナビゲーションの画面と音でお知らせします。

☞ 「メンテナンス情報を設定する」 246～249ページ

Quick機能

よく使う機能をQuick MENUに追加することができます。表示する順番も選べ、使いやすいQuick MENUに設定できます。

☞ 「Quick MENUの設定を変える」 76、77ページ

ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、テレビやDVDビデオ画面を表示中に音声案内を割り込ませたりすることができます。

☞ 「ナビゲーション画面から他のモードに替える」 282ページ

☞ 「ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞く」 283ページ

右画面AV表示機能

画面を2分割して左にナビ画面、右にオーディオ画面を同時に表示することができます。

☞ 「**■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合**」 73～75ページ

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

☞ 「**現在地から目的地までのルートを探索する場合**」 68ページ

また、あらかじめ自宅を登録しておくで、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

☞ 「自宅を登録する」 65～67ページ

☞ 「**現在地から自宅までのルートを探索する場合**」 69ページ

電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探することができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報 約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

☞ 「電話番号で探す」 86～88ページ

☞ 「住所で探す」 89～92ページ

主な特長(2)

ハイブリッド検索

名称(施設50音)で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「名称」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

☞ 「名称で探す[50音]」82~85ページ

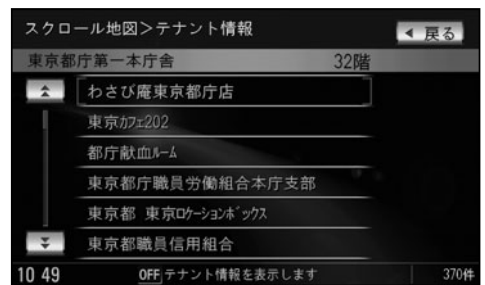


ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(5m/12m/25m/50m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチするとテナント情報を見ることができます。

☞ 「Quick機能について」60、61ページ



- ※ ● データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。
- ビル名のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。

目的地到着までのルートを表示してくれる

目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行ないます。探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT、渋滞/規制情報などを音声で案内します。

高速道路のジャンクションを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。


☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
206ページ



行き方の候補を5種類表示(複数ルート探索)


目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。

自動(推奨ルート)探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

 「**複数ルート探索をする**」 121ページ

**進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)**

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを橙色で表示させることができます。

 「**ルート案内画面の設定を変える**」
201ページ



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。


交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを矢印で表示し、交差点情報を表示させることができます。

 「**ルート案内画面の設定を変える**」
200ページ

**案内標識を表示(方面看板)**

国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

 「**ルート案内画面の設定を変える**」
204ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



主な特長(3)

リアル3D交差点を表示(シティリアル交差点拡大)

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)に案内します。(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京23区・横浜・川崎・新潟・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪・堺・神戸・広島・福岡・北九州の中心部の一部交差点)

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」 205ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



詳しい交通情報を教えてくれる

VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すれば、ビーコンのVICS情報を見ることができます。

☞ 「VICS」 150~175ページ

☞ 「VICS(ビーコン)」 176~179ページ

統計交通情報

日時・曜日を指定して過去のVICS渋滞統計データから渋滞予測地図を表示することができます。

一方通行規制箇所がわかる

一方通行表示

5m/12m/25mの市街地図表示のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」 53、54ページ

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法*1 & マップマッチング*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

ナビゲーション

エコドライブ

GPSの信号や車速情報を基に、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

☞ 「エコドライブ情報の設定をする」 180～184ページ

QQコール機能

QQコール ボタンタッチでQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示します。オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などを受けたりすることができます。

※QQコール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要になります。

☞ 「QQコールを利用する」 185ページ

地上デジタルテレビ

☞ オーディオ編 (別冊)

地上デジタルテレビ放送とワンセグ

本機に内蔵の地上デジタルテレビ放送用チューナーで、地上デジタルテレビ放送を受信できます。ドライブ先の天気予報や交通情報などのデータ放送を表示したり、番組表から今放送中の番組を選局することもできます。また、携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」も見ることができます。

12セグ／ワンセグ自動切替機能

お車の受信状況によって12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えることができます。

Music Rack

☞ オーディオ編 (別冊)

Music Rack機能

大容量のハードディスクを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。(自動録音設定時) Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で(アルバム名／アーティスト名／プレイリスト／ジャンル／ミュージックエスコート)選曲モードに振り分けられるため、絞り込んだ検索ができて便利です。

マッハリッピング機能

本機へ音楽CDを録音するとき、再生させながら録音する等速リッピングと最大14倍速で録音していくマッハリッピングがあります。マッハリッピングにより録音時間の短縮ができて便利です。

BeatJam対応

本機へ録音した音楽ファイルを別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のBeatJamソフトをインストールしたパソコンへ移動し、パソコン上で音楽ファイルを管理することができます。また、パソコン上で管理している音楽ファイルを本機へ転送して聞くこともできます。パソコンから転送できる音楽データはATRAC3・ATRAC3plusとなります。

主な特長(4)

🔊 オーディオ編(別冊)

CPRM対応

本機では、DVD-R/RWにビデオレコーディングモード(VRモード)にて録画されたディスクが再生できます。さらに、デジタル放送などを録画したCPRM対応のディスクが再生できます。

マルチ音声機能

お好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチ字幕機能

お好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチアングル機能

複数のアングルで収録されているDVDビデオの場合、好きなアングルに切り替えることができます。

演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

道路交通情報

交通情報を受信することができます。

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

自動選局

放送局を自動的に選局します。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。

リアカメラ対応

別売のリアカメラを接続すれば、車のシフトレバーをリバースに入れたとき、画面をリアカメラ映像にすることができます。

☎ 270～272ページ

フロントカメラ対応

別売のフロントカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をフロントカメラ映像にすることができます。


☎ 264～269ページ

コーナーカメラ対応

別売のコーナーカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をコーナーカメラ映像にすることができます。

☎ 264～269ページ

オプションボタン選択機能

本機の **OPTION** ボタン () によく使う機能を設定することができます。

※別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合はできません。

☎ 244、245ページ

ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

☎ 148、149、258～263ページ

リア席モニター対応

別売のリア席モニターに接続し、DVDなどの映像を映すことができます。

☎ 別冊のオーディオ編320ページ

VTRコード対応

別売のVTRコードを使用して市販のビデオカメラなどを接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。

☎ 別冊のオーディオ編252、253ページ

VICSビーコン対応

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すると、より詳細な渋滞情報などビーコンの交通情報を取得することができます。

☎ 176～179ページ

主な特長(5)

その他

USB対応

別売のUSB接続コード(USBコードA)を使用してUSBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ／(ATRAC AD対応)ウォークマン)のJPEG画像データ／音楽データの再生をすることができます。

☞ 252～257ページ

☞ 別冊のオーディオ編295～313ページ

iPod対応

別売のiPod接続コードを使用して、本機で音楽再生や映像再生などのiPodの操作をすることができます。

☞ 別冊のオーディオ編271～293ページ

SDカード対応

市販のSDカードを使用してJPEG画像を見る、または追加したり、音楽データを再生することができます。

☞ 252～257ページ

☞ 別冊のオーディオ編 255～269ページ

VGAモニター

高解像度(800×480ドット)により高精細なVGAモニターを使用しているため、どこから見ても美しく高画質な画面です。

広視野角液晶ディスプレイ

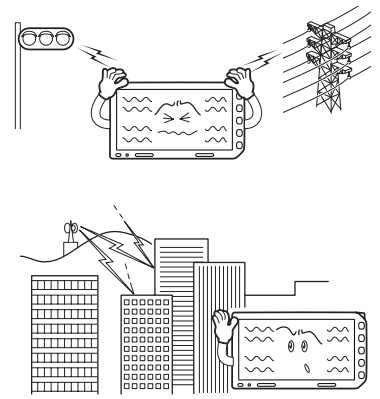
広視野角液晶ディスプレイを使用しているため、どの角度からでも美しい画面を見ることができます。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断られたときは、メモリーしたチャンネルや音場、スピーカー仕様などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなる場合があります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信(ハイビジョン放送等)や携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



はじめに

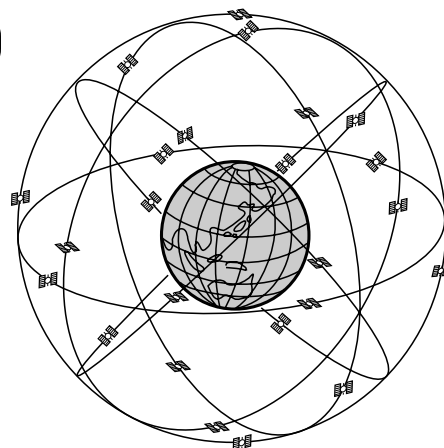
〔主な特長〕／〔オーディオ／テレビ／ラジオの設定について〕

GPS衛星の電波受信と測位

グローバルポジショニングシステム GPS(Global Positioning System)について

地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※ 本機では高度は表示しません。



受信しにくい場所について

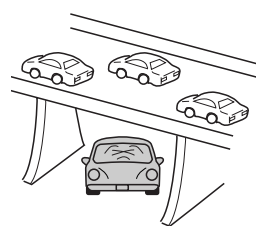
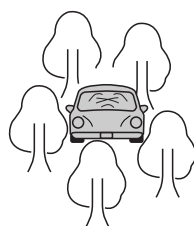
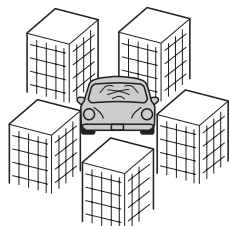
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところでは、



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位表示の背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。)通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m~200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*¹&マップマッチング*²

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自転車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自転車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、3次元のセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

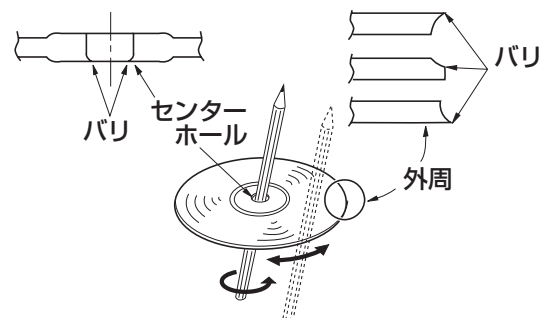
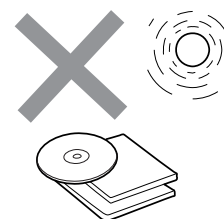
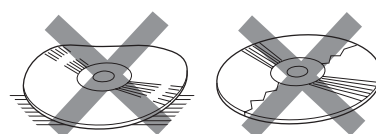
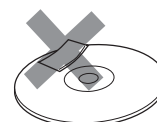
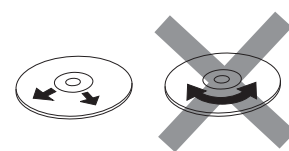
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行によりますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にズレが発生する場合がございます。

ディスクの取り扱いかた

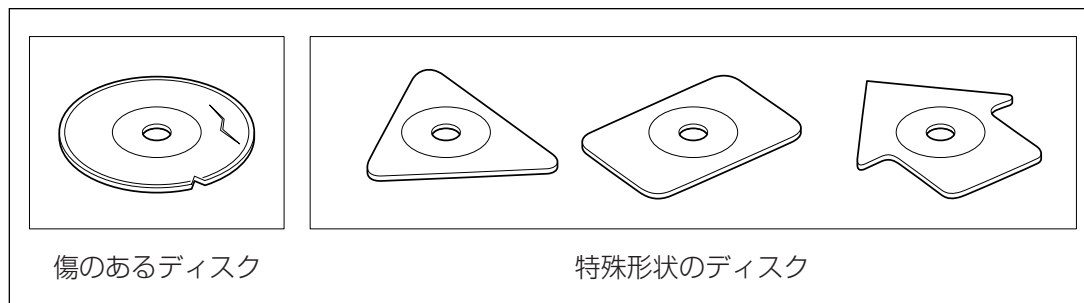
- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。
- 印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。
- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。
- 長時間使用しないときは汚れ、ゴミ、キズをつけたり、ディスクがそらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所には放置しないでください。
 - ・特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上など。
 - ・湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
 - ・暖房器具の熱が直接あたる場所。
- ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなどの誤動作の原因になる場合がありますので、ケースからの出し入れにご注意ください。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめ鉛筆等でバリを取り除いてからお使いください。
- ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。



●8cmディスクには対応していません。

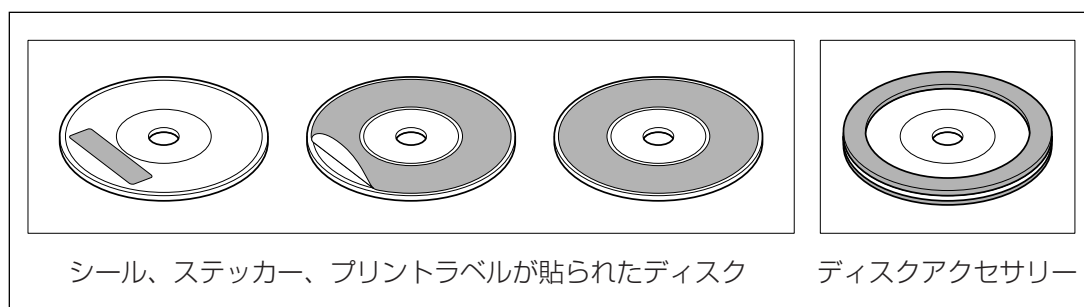
●特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



●ディスクのアクセサリについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



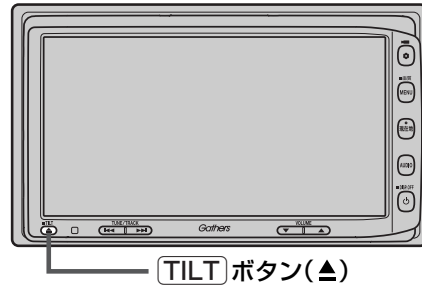
●CD-R/RWディスクのご使用について

- ・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いいため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・ビデオCDは、再生できません。

ディスクを入れる／取り出すには

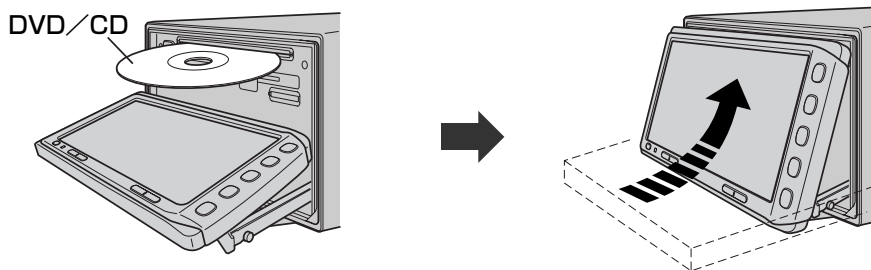
1

TILT ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイ部が開きます。



2

ディスク入口にDVD／CDを挿入すると自動でディスプレイ部が閉じる。



DVD／CDは印刷面を上にして挿入してください。

ディスクを取り出すには

1. 上記手順の **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、**DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押してDVD／CDを取り出す。
2. **TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



アドバース

- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間ご使用になった後ディスクが温くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ディスクを挿入すると、自動でディスクの再生がはじまります。



ディスプレイ部を開閉するときは手などはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとする、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディ스플레이部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に**TILT** ボタン(▲)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

SDカード／USBメモリデバイスについて(1)

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。


※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。


本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

- ・SDメモリーカード
- ・miniSDカード*
- ・SDHCメモリーカード
- ・microSDカード* ※専用のアダプターが必要です。
- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

■16GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作補償できません。  別冊のオーディオ編 296ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
 「データを初期化(消去)する」274、275ページ
※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行ってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。
- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。







■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／HDDにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを0(OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

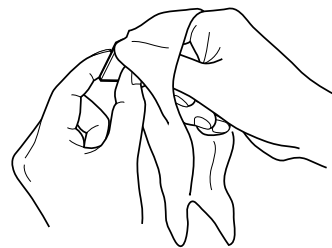
SDカード／USBメモリデバイスについて(2)

- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56～62ページ
 - 画像の追加やコピー  「画像を追加する」252～254ページ
「画像をコピーする」255～257ページ
 - 別冊のオーディオ編 音楽再生  255～269ページ
※対応可能なSDカードにつきましては257ページを参照ください。
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
 - 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56～62ページ
 - 画像の追加やコピー  「画像を追加する」252～254ページ
「画像をコピーする」255～257ページ
 - 別冊のオーディオ編 音楽再生  295～313ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードの最適化は行わないでください。
- 書き込み中や読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使わないでください。データが破壊されることがあります。
- SDカード内のデータは圧縮しないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「Lock」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

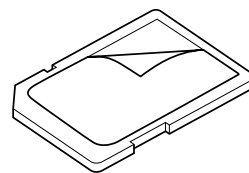
※本書ではSDメモリーカード・SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

SDカードの取り扱いかた

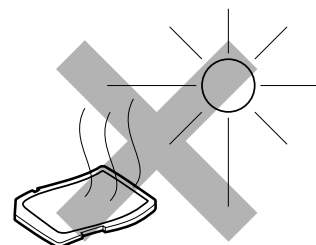
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



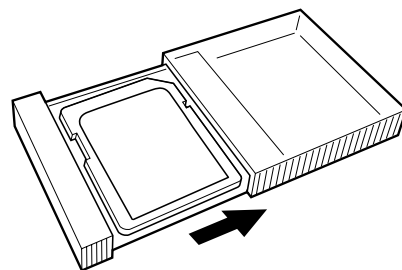
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



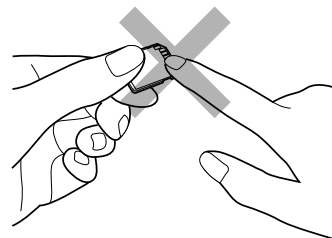
- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。



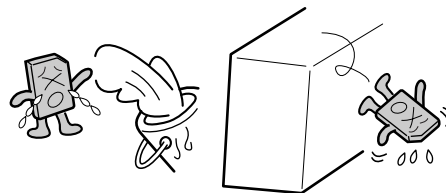
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

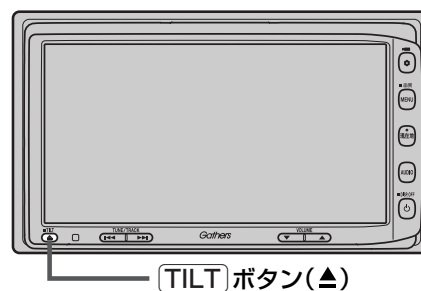


SDカードを入れる／取り出すには

1

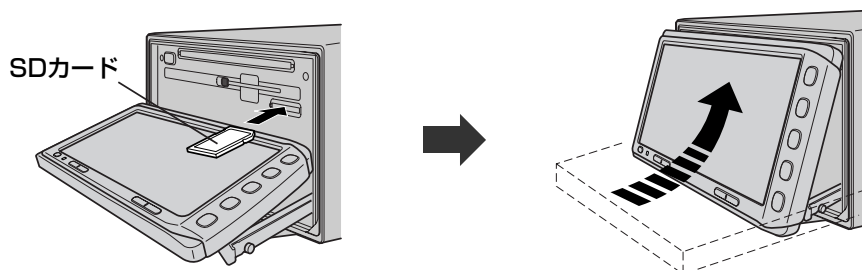
TILT ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイ部が開きます。



2

SDカード挿入口にSDカードを差し込むと自動でディスプレイ部が閉じる。



ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで挿入してください。

SDカードを取り出すには

1. 上記手順の **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。
2. **TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



アドバイス

- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

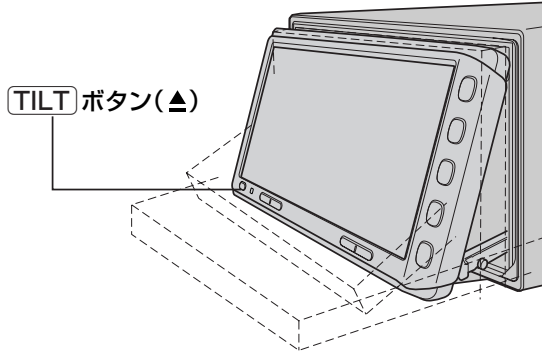


お願い

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカード挿入途中に**TILT** ボタン(▲)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- SDカードの抜き差しは、ナビゲーションモードの場合は必ず車のエンジンスイッチを0(OFF)に、AUDIOモードの場合は必ず操作パネル上の**電源** ボタン(⏻)を押してモードを終了(OFF状態)にさせてください。終了させないで外すとデータやSDカードがこわれるおそれがあります。

ディスプレイ部の角度を調整する

- 1** **TILT** ボタン(▲)を長押しする。(約0.7秒以上)
ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。ボタンを長押しするごとに1段階ずつ傾きます。(全5段階)



角度調整をしても車のエンジンスイッチを0(OFF)にすると、ディスプレイ部は自動で閉じます(収納される)が、次回、車のエンジンスイッチをI (ACC)またはII (ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。



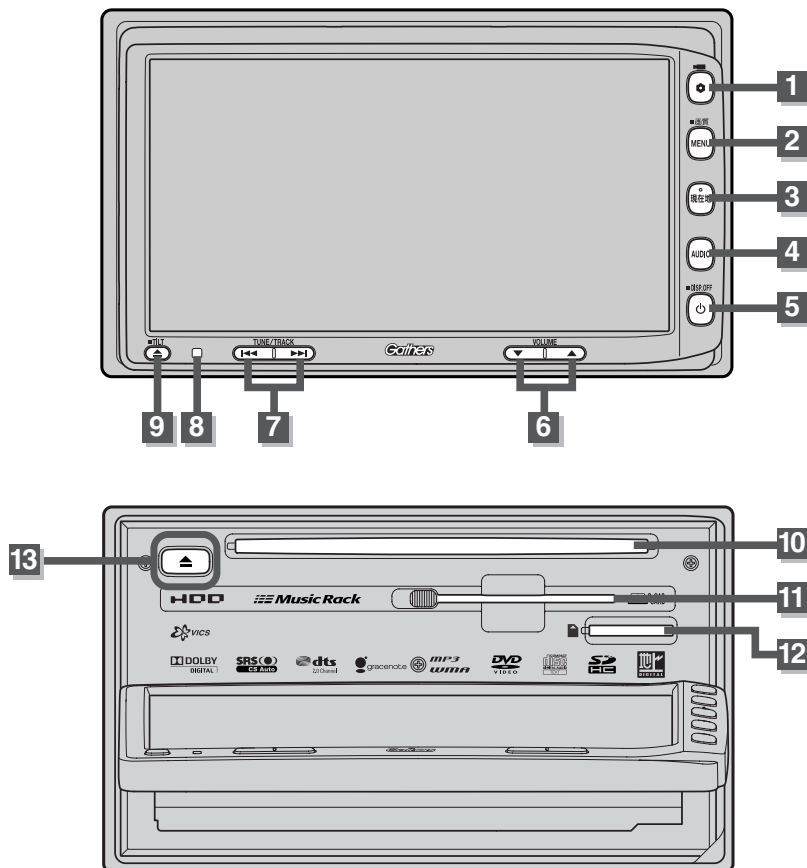
角度調整をするときは手や指などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイの故障原因になります。

はじめに

〔SDカードを入れる／取り出すには〕／〔ディスプレイ部の角度を調整する〕

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。



1 [OPTION] ボタン (⚙️) / (📷)

- 別売のフロントカメラ/コーナーカメラ映像画面を表示します。(266ページ)
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(244、245ページ)

2 [MENU] ボタン

- メニュー画面を表示します。(58、59ページ)
- 長押しすると画面設定画面が表示されます。(278~280ページ)

3 [現在地] ボタン

現在地の地図を表示します。(52ページ)

4 [AUDIO] ボタン

AV MENU画面を表示します。
(282、283ページ)

5 [電源] ボタン (⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使います。(283ページ)
- 画面を消すときに長押しします。(281ページ)

6 [VOLUME] ボタン (▼/▲)

オーディオの音量を調整します。

7 [TUNE/TRACK] ボタン (⏮/⏭)

オーディオ操作で好きなトラックや放送局を選んだり、早送り/早戻しをすることができます。

8 [リモコン受光部] (286ページ)

9 [TILT] ボタン (▲)

- ディスク/SDカードを出し入れするときに押します。(38、42ページ)
- 画面の角度を調整するときに長押しする。(43ページ)

10 [ディスク挿入口] (38ページ)

11 [B-CASカード挿入口]

(別冊のオーディオ編197ページ)

12 [SDカード挿入口] (42ページ)

13 [DVD/CDイジェクト] ボタン (▲) (38ページ)

ここだけ読んでも使えます

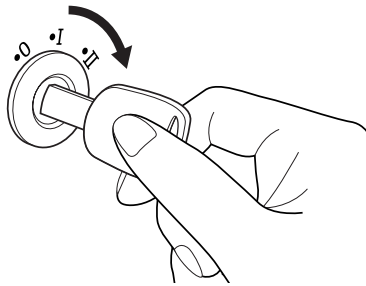
地図を表示するには	46、47
現在地表示について	47
地図画面の見かた	48、49
代表的な画面の表示内容について	48
地図を拡大／縮小する	50
地図の縮尺レベル	51
現在地を表示するには	52
表示された現在地が実際の現在地と違う場合は	52
地図表示(方位)を切り替える	53、54
見たい地域を探す	55～57
地図を動かす(地図スクロール)	55、56
スクロールの微調整をする	57
メニュー項目一覧	58、59
Quick機能について	60、61
現在地表示時に Quick ボタンをタッチした場合	60
地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合	61
メニューの基本操作	62
地点を登録する	63、64
登録地点について	64
自宅を登録する	65～67
クイックルート探索をする	68、69
現在地から目的地までのルートを探索する場合	68
現在地から自宅までのルートを探索する場合	69
右画面に地図／情報を表示する	70～75
Quick MENUの設定を変える	76、77
音声案内について	78、79

地図を表示するには

1

車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にする。

起動初期画面が表示され、しばらくすると現在地画面が表示されます。



起動初期画面



測位計算中

現在地表示画面

「あれ？画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後、前回車のエンジンスイッチを0 (OFF) にしたときに表示していたモードの画面になります。ナビゲーション画面にするには、**現在地** ボタンを押してください。

GPS受信表示

青色：GPS衛星電波の受信状態が良い。
(GPSを使った測位ができる。)

灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。
(GPSを使った測位ができない。)

※測位計算中も、灰色のままです。



自車マーク



アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。☞ 「画質調整のしかた」 279、280ページ
- 現在地表示画面の見かたについては、「現在地を表示するには」 52ページをご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」 34ページをご覧ください。


現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。

☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」 34ページ
「現在地を表示するには」 52ページ

GPS受信表示



- **方位** ボタン()の文字の色で、現在の測位の状態がわかります。このボタンの文字が灰色の場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」(32ページ)にしたがって、電波を受信してください。
- お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。

ここだけ読んでも使えます

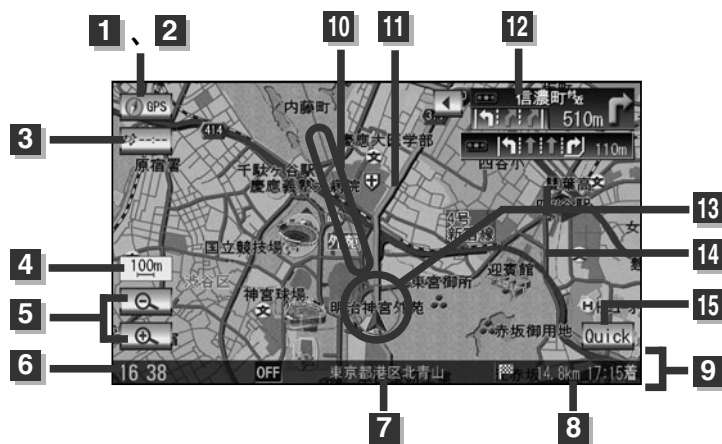
〔地図を表示するには〕

地図画面の見かた

代表的な画面の表示内容について

ナビゲーションシステムでは、いろいろな情報を地図画面に表示しています。

(例) 平面地図画面



1 GPS受信表示

現在地の測位の状態を背景色の色で示します。
青色：現在地の測位ができています。
灰色：現在地の測位ができていない、
または測位計算中。



測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3~4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

2 方位 ボタン

地図表示(方位)を切り替えます。(赤の先端の方向が北を示します。) [53、54ページ]

3 VICSタイムスタンプ ボタン

- VICS情報が提供された時刻を示します。
[154ページ]
- 渋滞/規制地点を表示します。
[144ページ]

4 縮尺スケール

地図のスケールを示します。

5 広域 / 詳細 ボタン

地図のスケールを変更します。
[50ページ]

6 現在の時刻

7 ・周辺の住所(または道路名)・曲名

[196~198ページ]

8 目的地への到着予想時刻、残距離表示

ルート案内時に、目的地への到着予想時刻と残距離を示します。

9 情報バー

10 目的地方向表示

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を示します。

11 設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)が太いピンク色または緑色(設定による) [「設定ルートの色を選ぶ」200ページ] で表示されます。探索されたルート上の細街路は、黄色で表示されます。有料道路は青色で表示されます。

12 交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を橙色で表示します。

13 自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

14 道路

道路の種類を色で区別しています。

青 色：高速道路、有料道路

赤 色：国道

緑 色：主要地方道、県道

灰色(太線)：一般道、細街路(経路案内対象)

灰色(細線)：細街路(経路案内対象外)

薄紺色：フェリー航路(経路案内対象外を含む)

※経路対象・経路対象外ともに破線表示

※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

※市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象とはなりません。

15 Quick ボタン [69~77ページ]

(例) 3D地図画面



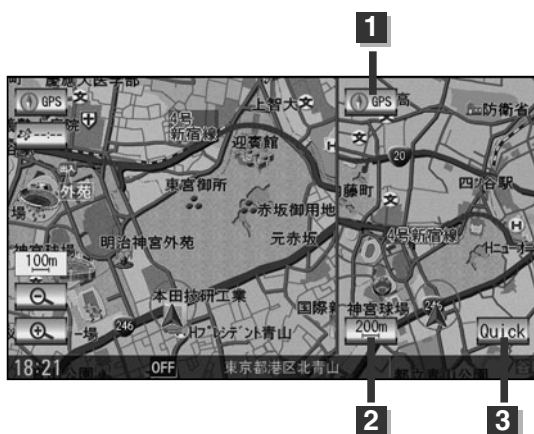
1 立体ポリゴン

ビルなどをリアルな3Dポリゴンで表示します。

2 自車マーク

走行中自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

(例) 2画面



1 GPS受信表示
方位 ボタン

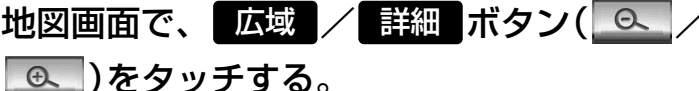
2 200m スケール ボタン

地図のスケールを示す/変更します。

3 Quick Quick ボタン

地図を拡大／縮小する

1

地図画面で、**広域**／**詳細** ボタン()をタッチする。

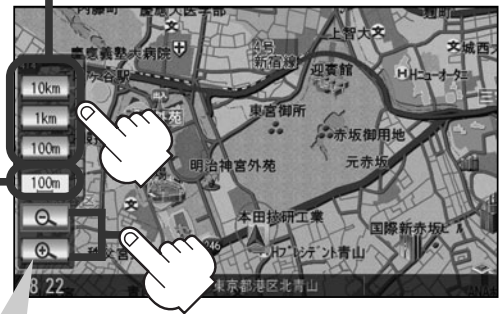
：**広域**／**詳細** ボタンをタッチするたびに、縮尺スケールが変わります。

1



ここをタッチすると
選択したスケールで表示します。

縮尺スケール



拡大(詳細地図)



詳細 ボタンを
タッチ





広域 ボタンを
タッチ

縮小(広域地図)



アドバイス

- 指定の縮尺の地図がないときは、“指定スケールの地図がありません。より広域の地図を表示します。”と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、**広域**／**詳細** ボタンをタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」(51ページ)をご覧ください。
- 市街地図データの収録エリアは、 「市街地図の収録エリア」312～315ページをご覧ください。
- 市街地図(5m/12m/25m/50m)表示のスケールの背景色は薄い橙色、それ以外は白色で表示されます。
- 市街地図(5m/12m/25m/50m)から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチすると、テナント情報を見ることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号など施設の詳細情報を確認することができます。)※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。
- 右画面に地図を表示している場合、右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面の**スケール** ボタンをタッチして、同じように操作してください。 71ページ

地図の縮尺レベル

※下記縮尺レベルは全画面(平面/3D)/2画面(左/右画面)表示時共通です。

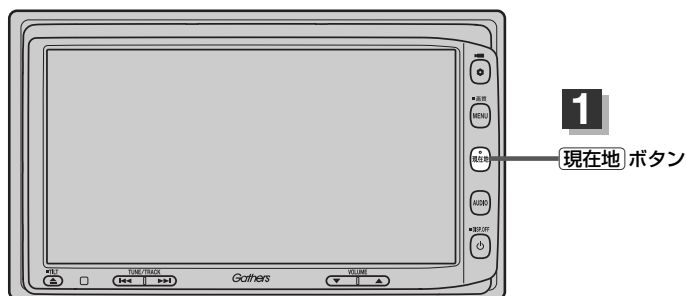
地図縮尺	スケール
1/781	5m
1/1562	12m
1/3125	25m
1/6250	50m
1/12500	100m
1/25000	200m
1/5万	500m
1/10万	1km
1/20万	2.5km
1/40万	5km
1/80万	10km
1/320万	25km
1/1280万	100km
1/2560万	250km

ここだけ読んでも使えます

〔地図を拡大/縮小する〕 / 〔地図の縮尺レベル〕

現在地を表示するには

本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。



1 現在地 ボタンを押す。

：現在地の地図が表示されます。

方位 ボタン

赤い先端の方向が北を示します。
☞ 53、54ページ

GPS受信表示

青色：GPS衛星電波の受信状態が良い。(GPSを使った測位ができる。)
灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。(GPSを使った測位ができない。)
または、測位計算中。

VICSタイムスタンプ ボタン

☞ 144ページ

現在地表示画面(例)



自車マーク

自車の現在地を示します。マークの種類/色を変えることができます。
☞ 「カーマークの種類/色を変える」
211ページ

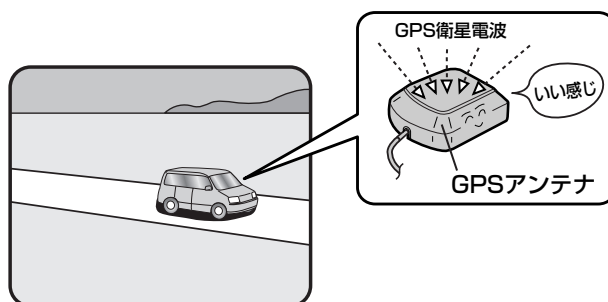
周辺の住所(または道路名)

☞ 「表示項目の設定を替える」
196、197ページ

現在の時刻 縮尺スケール

表示された現在地が実際の現在地と違う場合は・・・

GPS受信表示が黄色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



アドハイス

自車マークの位置/角度をご自分で修正することもできます。

現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず、実際の現在地を表示していることを確認してください。自車マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 212、213ページ

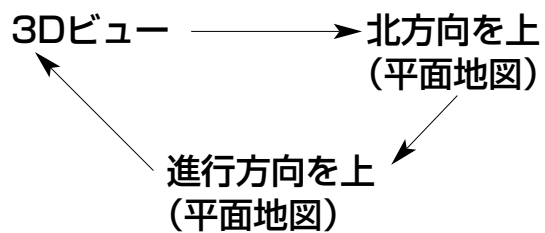
地図表示(方位)を切り替える(1)

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。
画面には、「北方向を上」、「進行方向を上」、「3Dビュー」の3種類があります。

- ☞ 「メイン画面(地図)の設定を変える」 188、189ページ
- 「右画面地図表示の内容を設定する」 190、191ページ

1 地図画面の**方位**ボタン(📍GPS)をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。



● 「進行方向を上」

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。



● 「北方向を上」

地図の動きが気になるときは、北方向を上固定できます。



● 「3Dビュー」

進行方向は常に画面の上方向になります。



ここだけ読んでも使えます

〔現在地を表示するには〕

／ 〔地図表示(方位)を切り替える〕

地図表示(方位)を切り替える(2)

平面地図画面とは

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。



3Dビューとは

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。



アドバイス

- 地図表示(方位)は **MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → ▼ の **北向き** / **進行方向** / **3D** で設定することもできます。

☞「メイン画面(地図)の設定を変える」188、189ページ

「右画面地図表示の内容を設定する」190、191ページ

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 文字と建物がかさなり文字が見えにくくなる場合があります。

見たい地域を探す(1)


見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図を動かす(地図スクロール)

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

1 ■ 地図画面を低速でスクロールする場合

① 画面をタッチする。


：画面に「」マークが表示されます。

② 画面の「」マーク近くを動かしたい方向に地図画面をタッチし続ける。

：低速でスクロールします。

■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面をタッチする。

：画面に「」マークが表示されます。

② 画面の「」マークから離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。



ここだけ読んでも使えます

〔地図表示(方位)を切り替える〕 / 〔見たい地域を探す〕



アドバイス

- 現在地に戻るときは、**〔現在地〕** ボタンを押すか画面の **〔戻る〕** ボタンをタッチします。
- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 市街地図表示で走行中の時は、スクロールはできません。

見たい地域を探す(2)

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合


1


画面をタッチする。


:  ボタンが表示されます。

2

動かしたい方向の地図画面、


または  ボタンをタッチする。

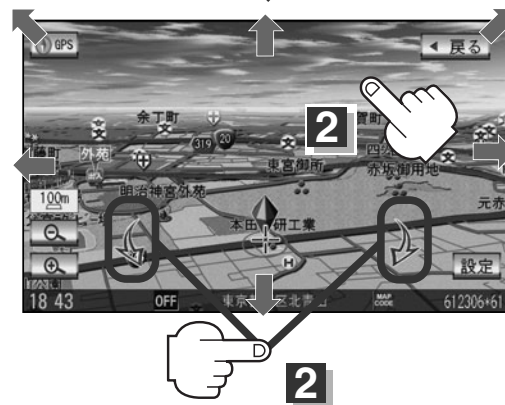
 : 中心マークを中心に右回転(時計まわり)します。

 : 中心マークを中心に左回転(反時計まわり)します。



アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- 中心マークに近い部分をタッチすると低速で動き、中心マークより遠くなると高速で動きます。
- 3Dビュー表示画面で地図を動かした場合の自車マークは  になります。



スクロールの微調整をする


微調整は平面地図画面のみ行なうことができます。

※3Dビュー画面を表示している場合は、平面地図画面にしてください。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」53、54ページ

※走行中 **微調整** ボタンは選択できません。

1 画面をタッチし、**微調整** ボタンをタッチする。

：画面に  ボタンが表示されます。




2 動かしたい方向の矢印をタッチする。

：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。



アドバイス

 ボタン以外をタッチしてもスクロールはしません。地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。

3 設定を終わるには・・・

調整終了 ボタンをタッチする。

：スクロール画面に戻ります。



アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、**〔現在地〕** ボタンを押すか画面の **戻る** ボタンをタッチします。

メニュー項目一覧

走行中操作できない項目は暗くなります。

ナビゲーションでは、各項目を選択してさまざまな操作を行ないます。**MENU** ボタンを押してトップメニューを表示させお好みのメニューを選び、サブメニューの中から、実行したい項目をタッチして各操作に入ります。

トップメニュー(目的地)



サブメニュー

目的地をいろいろな方法で設定します。

- ☞ 名称 82～85ページ
- ☞ 履歴 105、106ページ
- ☞ 電話 86～88ページ
- ☞ 地名 107、108ページ
- ☞ 住所 89～92ページ
- ☞ 郵便番号 109ページ
- ☞ ジャンル 93～95ページ
- ☞ 緯度経度 110ページ
- ☞ 自宅 96ページ
- ☞ マップコード 111ページ
- ☞ 周辺施設 97～99ページ
- ☞ 地図から 112ページ
- ☞ 登録地点 103、104ページ

トップメニュー(ルート)



サブメニュー

ルートの設定や設定したルートの確認や修正などを行ないます。

- ☞ 案内ストップ/スタート 122ページ
- ☞ ルート編集 118～121、123～131ページ
- ☞ 全ルート表示 132～134ページ
- ☞ 経由地スキップ 135ページ
- ☞ 登録ルート 136、137ページ
- ☞ ルート管理 138、139ページ
- ☞ 渋滞予測回避 140～142ページ

トップメニュー(情報)



サブメニュー

各種情報を見たりします。

- ☑ 渋滞予測地図 146、147ページ
- ☑ ETC情報 148、149ページ
- ☑ FM多重 150～175ページ
- ☑ ビーコン 176～179ページ
- ☑ エコドライブ情報 180～184ページ
- ☑ QQコール 186ページ

- **ビーコン** ボタンは別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
- **ETC情報** ボタンは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)接続時に表示されます。
- **QQコール** ボタンは販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

トップメニュー(NAVI設定)



サブメニュー

自宅登録や登録地点編集などを行ないます。

- ☑ 表示設定 188～213ページ
- ☑ 探索条件 214～217ページ
- ☑ VICS設定 218～222ページ
- ☑ 音声案内 223～226ページ
- ☑ 到着予想 227ページ
- ☑ 地点編集 228～239ページ
- ☑ 走行軌跡 240～242ページ

トップメニュー(システム設定)



サブメニュー

ナビゲーションシステムの各機能を設定します。

- ☑ オプションボタン 244、245ページ
- ☑ お知らせ 246～249ページ
- ☑ フォトビューアー 250～257ページ
- ☑ ETC設定 258、259ページ
- ☑ カメラ設定 264～269ページ
- ☑ その他 273～275ページ

- **カメラ設定** ボタンは別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時に表示されます。

Quick機能について

操作できないボタンは暗くなります。

本機では、主な操作を簡単にするため、Quick機能を設けています。


Quickメニューを表示させるには **Quick** ボタン(現在地表示時)、設定メニューを表示させるには **設定** ボタン(地図スクロール時)をタッチします。

(**次へ** / **前へ** ボタン=ページ送り/戻し、 **閉じる** ボタンまたは **戻る** ボタン=Quick MENU閉じる)


現在地表示時に **Quick** ボタンをタッチした場合

自宅へ帰る

自宅までのルートを探します。

「 **現在地から自宅までのルートを探する場合** 」  69ページ

※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

 「自宅を登録する」 65～67ページ

案内スタート


タッチするたびに、ルート案内スタート↔ストップが切り替わります。

 「ルート案内をストップ/スタートする」 122ページ

案内ストップ

※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります)

渋滞予測回避

過去のVICS渋滞統計データをもとに日時を指定してルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をします。  「渋滞予測ルート探索をする」 140～142ページ


再探索

ルート案内時に設定ルートから外れてしまった場合、探索条件を変えて、再探索することができます。

※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります)


 「ルートから外れてしまったら…(再探索)」 143ページ

地点を登録


地点の登録を行いません。  「地点を登録する」 63ページ

周辺施設

現在地の周辺施設を検索することができます。

 「周辺にある施設から探す」 97～99ページ


右画面表示

右画面に地図/ルート情報/エコドライブ/AV/時計/ハイウェイモードを表示することができます。  「右画面に地図/情報をを表示する」 70～75ページ



アドバイス

よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに追加/変更することができます。

 「Quick MENUの設定を変えるには」 76、77ページ

地図スクロール時に**設定** ボタンをタッチした場合

目的地セット

目的地を登録し、ルートを探します。

☞ 「**現在地から目的地までのルートを探索する場合**」 68ページ

出発地セット*

出発地を登録し、ルートを探します。☞ 「**出発地の変更**」 123、124ページ

※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。

経由地セット*

経由地を登録し、ルートを探します。

☞ 「**経由地の追加** / **経由地の変更** / **削除**」 126～129ページ

複数探索

複数ルート探索を行ないます。☞ 「**複数ルート探索をする**」 121ページ

経由地追加*

経由地を登録し、ルートを探します。☞ 「**経由地の追加**」 126、127ページ

※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

自宅セット*

自宅を登録します。☞ 「**自宅を登録する**」 65～67ページ

※自宅の登録を行なう場合に表示されます。

すでに自宅が登録されている場合は表示されません。

テナント情報

テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。☞ 「**主な特長**」 26ページ

※市街地図(5m/12m/25m/50m縮尺レベル)でテナント情報のある物件にカーソルをあわせませす。

地点登録

地点の登録を行ないます。☞ 「**地点を登録する**」 63ページ

地点編集

登録地点の編集や並替え、削除ができます。

☞ 「**登録地点の編集** / **見る**」 228～233ページ

「**登録地点の並び替えをする**」 234、235ページ

「**自宅** / **登録地点を削除する**」 238、239ページ

※登録地点マークにカーソルをあわせませす。

周辺検索

スクロール先の周辺施設を検索することができます。

☞ 「**周辺にある施設から探す**」 97～99ページ

施設の詳細

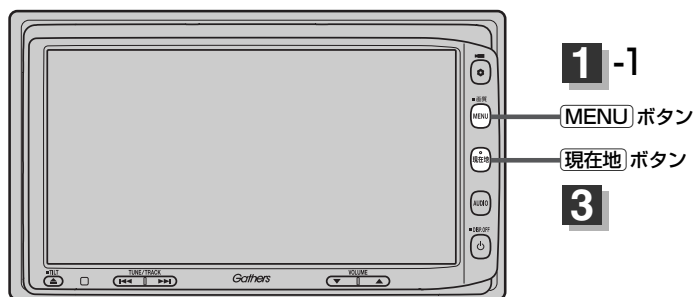
施設の詳細がある場合のみ情報が表示されます。

*印：地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

メニューの基本操作

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。本機をお使いいただく上で、大切な基本操作ですので、ぜひ、マスターしてください。

本書では、パネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明。)と画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明。)を使って操作説明をしています。

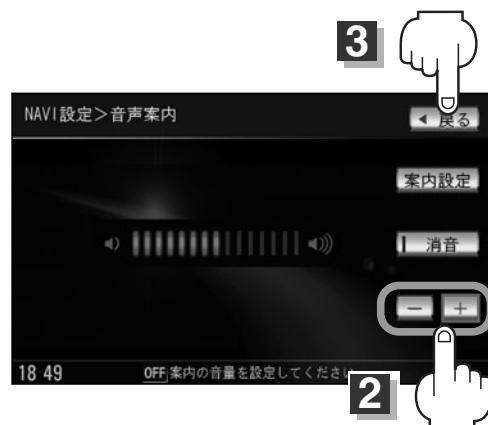


例 音声案内の音量を調整する場合

- 1 **MENU** ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
音声案内 ボタンをタッチする。
：音声案内設定画面が表示されます。



- 2 **+** / **-** ボタンをタッチして、
お好みの音量に調整する。
調整時に“この音量でご案内します。”と音声
が鳴ります。



- 3 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチする。
：設定を保存し、メニュー画面に戻ります。
※ **MENU** ボタンを押すとメニュー画面に戻り、**現在地** ボタンを押すと現在の地図画面
に戻ります。
※画面に操作説明が表示された場合は、説明にしたがってください。



アドバンス

設定を変更するときに **決定** ボタンが表示される場合は **決定** ボタンをタッチして設定を保存してください。 **決定** ボタンをタッチしないで、**現在地** / **MENU** ボタンを押したり、**戻る** ボタンをタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

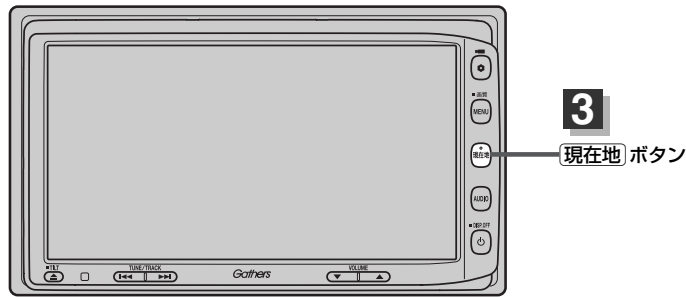
地点を登録する(1)

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大300か所・自宅は含みません。)

ここだけ読んでも使えます

【メニューの基本操作】

【地点を登録する】



1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(-|-)を合わせ、**設定** ボタンをタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

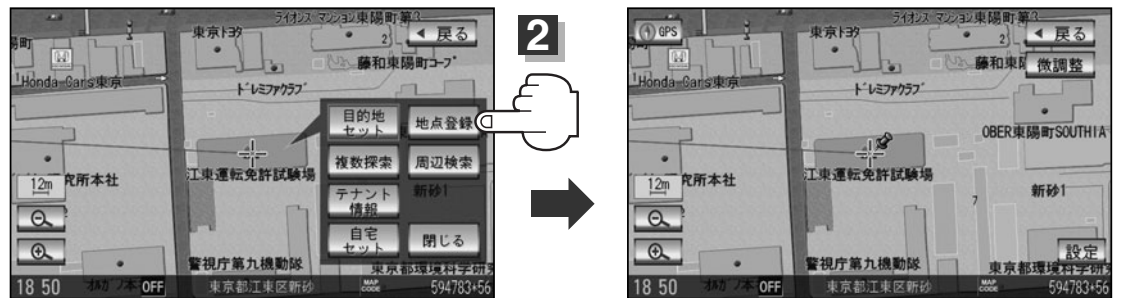


ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

📖 「スクロールの微調整をする」 57ページ

2 **地点登録** ボタンをタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチするか **現在地** ボタンを押す。

：現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

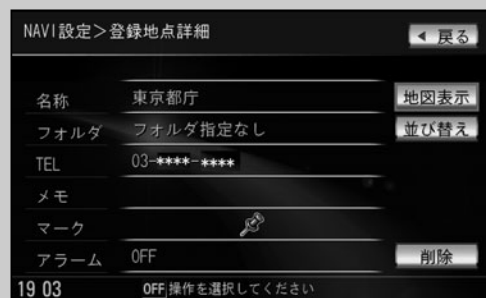
- 現在地(自車マーク位置)に地点を登録するには、現在地表示のときに **Quick** ボタンをタッチし、**地点を登録** ボタンをタッチしても登録できます。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、上記手順 **2** の **地点登録** ボタンをタッチした後に登録地点かカメラ地点のどちらで登録するかメッセージが表示されます。カメラ地点で登録する場合は 📖 「**フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する**」 267ページをご覧ください。

地点を登録する(2)

登録地点について

登録地点の名称、マーク、フォルダ、アラーム、カメラ(別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時)は変更することができます。また、TEL(電話番号)、メモを登録することもできます。

☞ 「登録地点の編集/見る」 228~233ページ



登録地点の地図は、**MENU** → **目的地** → **登録地点** で、呼び出すことができます。

☞ 「登録地点で探す」 103、104ページ

また、☞ 「自宅/登録地点の地図を呼び出す」 236、237ページでも呼び出せます。

ルート設定で出発地/経由地/目的地を登録するときに、登録地点を使ってすばやくできます。

☞ 「1ルート探索・複数ルート探索をする」
117~121ページ



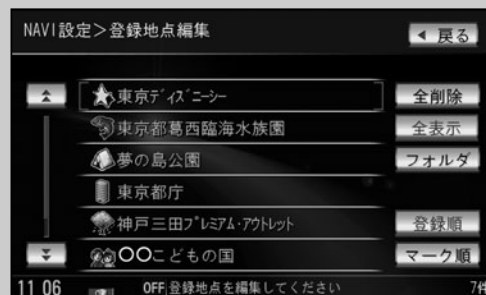
地図上の登録地点マークは、**MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **▼**
6回タッチ(“その他設定” ページを表示) → 登録地を表示を **しない** にすると、表示されません。

☞ 「表示項目の設定を変える」 196~198ページ

自宅を登録しておく、自宅までのルート探索(現在地から自宅までの参考ルートを探索する)ができます。

☞ 「Quick機能について」 60ページ

☞ 「現在地から自宅までのルートを探索する場合」 69ページ

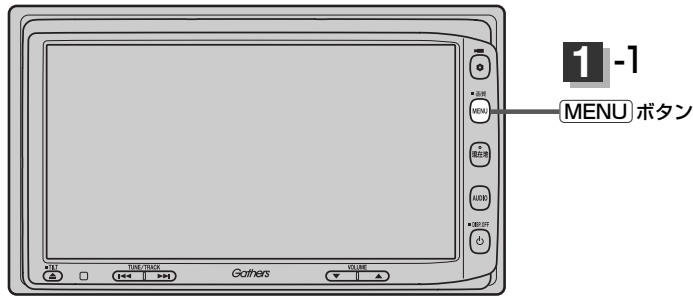


自宅を登録する(1)

自宅を登録しておくと、自宅までの参考ルートを探索することができます。

ここだけ読んでも使えます

「地点を登録する」／「自宅を登録する」

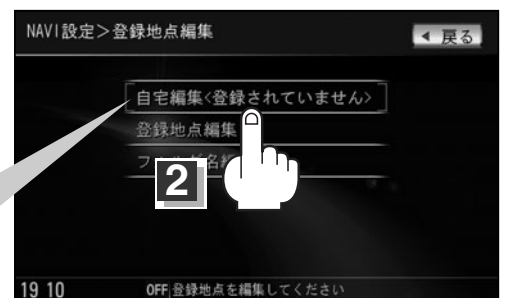


- 1 **MENU** ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
地点編集 ボタンをタッチする。
：登録地編集画面が表示されます。



- 2 **自宅編集** ボタンをタッチする。
：自宅登録画面が表示されます。

自宅を登録すると“<登録されていません>”の表示は消えます。



- 3 登録方法を選び、タッチする。



自宅を登録する(2)

- **現在地付近** : 現在地の地図を表示
- **出発地付近** : 出発地の地図を表示
- **目的地付近** : 目的地の地図を表示
- **名称** [📄] 82~85ページ
- **電話** [📄] 86~88ページ
- **住所** [📄] 89~92ページ
- **ジャンル** [📄] 93~95ページ
- **周辺施設** [📄] 97~99ページ
- **登録地点** [📄] 103、104ページ
- **履歴** [📄] 105、106ページ
- **地名** [📄] 107、108ページ
- **郵便番号** [📄] 109ページ
- **緯度経度** [📄] 110ページ
- **マップコード** [📄] 111ページ
- **地図から** : この画面に入る前の地図を表示 [📄] 112ページ

例 住所から自宅を探し登録する

① **住所** ボタンをタッチする。

② リストから画面にしたがって“都道府県名”
“市区町村名”“町名”“丁目・字・街区・地番”
・戸番・枝番”を順次選びタッチしていく。

: 自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。

(**地図から** / **現在地付近** / **出発地付近** /

目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。)

[📄] 検索方法は「住所で探す」の
手順 **2** (90、91ページ)を参照。

リスト画面



▲ / ▼ ボタンタッチ
でページ戻し/送り表示

地名の頭文字表示
※タッチするたびに
頭文字の行の
文字を順に表示



アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- また、頭文字をタッチするたびに頭文字の行の文字が順に表示されます。
- 入力した番地が収録されていない場合は、その付近の地図が表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

4

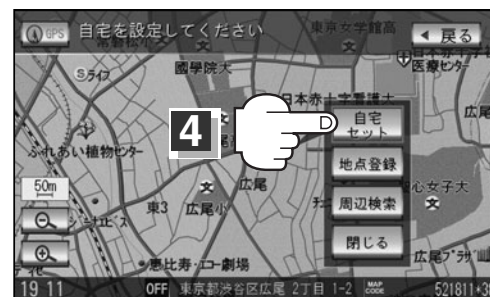
自宅を登録します。

- 表示された位置で良い場合

自宅セット をタッチする。

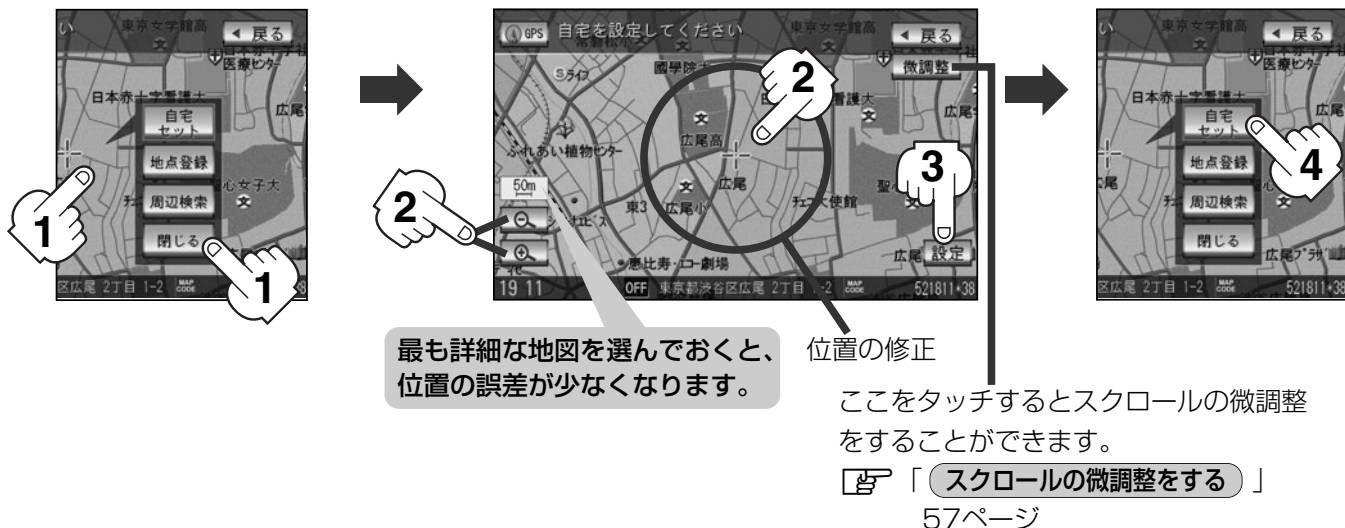
- 地図のみ表示された場合

設定 ボタンをタッチして設定メニューを
表示させ、**自宅セット** ボタンをタッチする。



■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチし、設定メニューを閉じる。修正や変更が終わったら、**設定** ボタンをタッチして再び設定メニューを表示させ、**自宅セット** ボタンをタッチする。



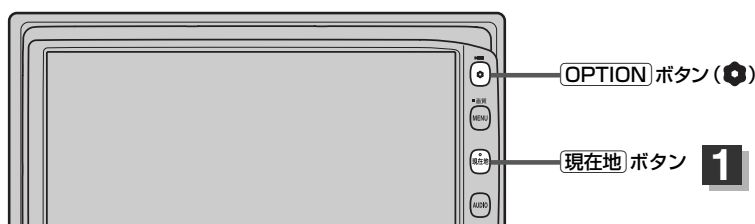
：登録地点編集画面に戻ります。登録した位置を確認したい場合は**自宅編集** ボタンをタッチし、**地図表示** ボタンをタッチすると地図が表示されます。（地図上には📍マークが表示されます。）



- 自動的にマークは📍になります。マークを変更したい場合は228～231ページを参照してください。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、手順**2**の**地点登録** ボタンをタッチした後に登録地点かカメラ地点のどちらで登録するかメッセージが表示されます。カメラ地点で登録する場合は🔗「**フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する**」267ページをご覧ください。
- MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → ▼6回タッチ（“その他設定”を表示）→ 登録地点を表示を**しない**にしている場合は、自宅を登録しても地図上にマークはあらわれません。
🔗「表示項目の設定を変える」196～198ページ
- 自宅を変更したい場合は、登録している自宅を削除してから再登録してください。
🔗「自宅／登録地点を削除する」238、239ページ

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。



現在地から目的地までのルートを探索する場合

1 **現在地** ボタンを押して、現在地が測位できていることを確かめる。

☞ 「現在地を表示するには」 52ページ

方位表示の文字が青色ならOK!



現在地表示画面(例)



アドバイス

自車マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。

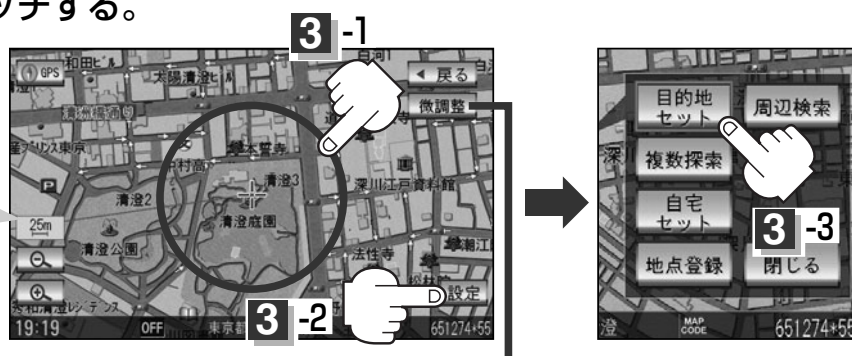
☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 212、213ページ

2 画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

☞ 「見たい地域を探す」 55ページ ☞ 「地図を拡大／縮小する」 50ページ

3 カーソルを目的地に合わせ、**設定** ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、**目的地セット** ボタンをタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



ここをタッチするとスクロールの微調整をすることができます。

☞ 「スクロールの微調整をする」 57ページ

：ルートの探索を始めます。探索が完了し、全ルート表示後、**案内スタート** ボタンをタッチするとルート案内を開始します。

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に登録する場合は **有料道路** ボタンを、一般道路上に登録する場合は **一般道路** ボタンをタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する場合

方位表示の文字が青色ならOK!



現在地表示画面(例)

1 **現在地** ボタンを押して、現在地が測位できていることを確かめる。

☞ 「現在地を表示するには」 52ページ



アドバイス

自車マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。

☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 212、213ページ

2 現在地表示中に **Quick** ボタンをタッチしてQuick MENUを表示させ、**自宅へ帰る** ボタンをタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



2-1



2-2

：参考ルートの探索を始めます。探索が完了し、全ルート表示後、**案内スタート** ボタンをタッチするとルート案内を開始します。

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを選択するとルート探索を開始します。



アドバイス

- **OPTION** ボタン(🔴)に“自宅”機能を設定している場合は、**OPTION** ボタン(🔴)を押すと自宅までのルート探索をします。
☞ 「オプションボタンの設定をする」 244、245ページ
- 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。上記手順 **2** で自宅が登録されていない場合、自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、**はい** ボタンを選択すると自宅登録設定画面が表示されるので、自宅を登録してください。
☞ 「自宅を登録する」 65～67ページ
- 新たにルート探索すると、前回探索したルートは消えます。
- 探索したルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
- **設定** / **Quick** ボタン(Quick MENU)の詳細内容は☞ 「Quick機能について」 60、61ページをご覧ください。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

右画面に地図／情報を表示する(1)

現在地表示時、画面を2つに分けて、右画面に地図／ルート情報／ハイウェイモード／エコドライブ／AV画面／時計を表示させることができます。

1 現在地表示時に、**Quick** ボタンをタッチする。

：Quickメニューが表示されます。



2 **右画面表示** ボタンをタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。



3 表示項目 (**地図**／**ルート情報**／

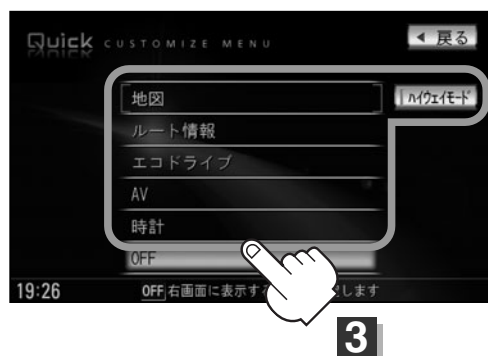
ハイウェイモード／**エコドライブ**／**AV**／

時計) を選択しタッチする。


■ **右画面に地図を表示する場合**

地図 ボタンをタッチする。

：地図が2画面で表示されます。





- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示は **MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **▼** 2回タッチ (“右画面用地図設定”を表示) → “右画面に地図表示”を **する** に設定して右画面に地図を表示することもできます。

 「右画面地図表示の内容を設定する」190、191ページ

□ 右画面地図を拡大／縮小する場合

地図画面で、**スケール** ボタン( / )をタッチする。

: **広域** / **詳細** ボタン( / )をタッチするたびに、スケールが変わります。



広域 ボタンタッチ：広域(縮小)

詳細 ボタンタッチ：詳細(拡大)





ここをタッチすると
選択したスケールで表示します。

スケール



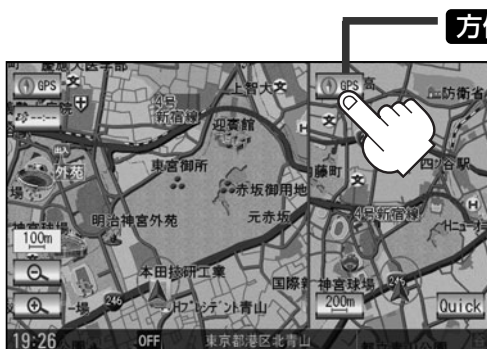
アドバイス

地図をフリーズさせたいときは、**広域** / **詳細** ボタン( / )をタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」(51ページ)をご覧ください。

□ 右画面地図の方位を切り替える場合

地図画面の**方位** ボタン( GPS)をタッチする。


: タッチするたびに **方位** ボタン( GPS)と画面が切り替わります。



方位 ボタン

3Dビュー → 北方向を上
(平面地図)

進行方向を上
(平面地図)

※地図画面の表示については  「地図表示(方位)を切り替える」53、54ページをご覧ください。

右画面に地図／情報を表示する(2)

■ 右画面にルート情報を表示する場合

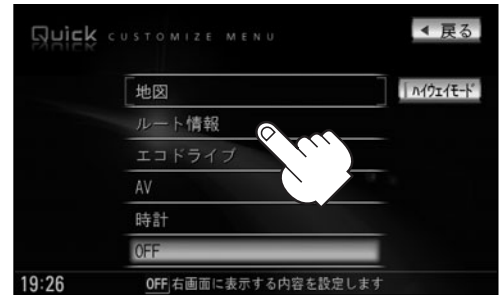
ルート情報 ボタンをタッチする。

：ルート案内中右画面にルート情報が表示されます。



アドバイス

ルート情報表示は **MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **ルート案内設定** → ▼ 2回タッチ (“表示設定項目” を表示) → “ルート情報の表示” を **する** に設定して表示することもできます。
☞ 「**■ ルート情報を表示する／しないにするには**」 202ページ



(例)ルート情報画面

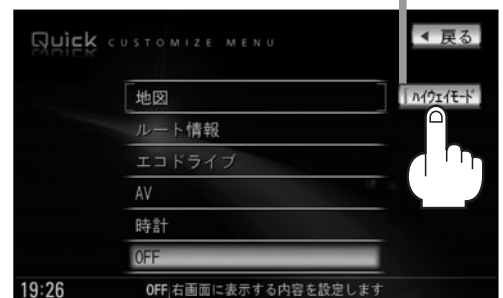


■ ハイウェイモードを解除したい場合

ハイウェイモード ボタンをタッチする。

：表示灯が、消灯しハイウェイモード(高速道路／一般有料道路の情報)を表示しない設定になります。

表示灯



アドバイス

- ルート情報表示は **MENU** → **NAVI設定** → **表示** → **ルート案内設定** → ▼ 2回タッチ (“表示設定項目” を表示) → “ハイウェイモードの表示” を **しない** に設定して表示することもできます。
☞ 「**■ ハイウェイモードを表示する／しないにするには**」 202ページ
- **■ 右画面にルート情報を表示するには** (上記)で **ルート情報** ボタンを選択または、202ページ **■ ルート情報を表示する／しないにする場合** でルート情報の表示” を **する** を選択すると高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、**ハイウェイモード** ボタンを選択できなくなります。
- ハイウェイモードを選択している場合、他の項目を選択していてもハイウェイモードが優先して表示されます。

■ 右画面にエコドライブを表示する場合

エコドライブ ボタンをタッチする。

：エコドライブが表示されます。

※エコドライブを開始していない場合は、メッセージが表示されます。**OK** ボタンをタッチするとエコドライブを開始し、右画面に表示されます。

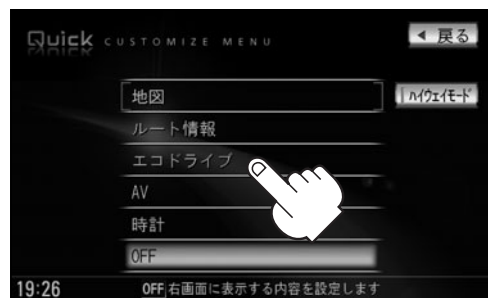


● エコドライブ情報を表示する前にエコドライブ評価を開始する必要があります。

☞ 「**■ エコドライブ評価を開始する場合**」
180ページ

● エコドライブ表示は **MENU** → **情報** → **エコドライブ** → **設定** → “エコドライブ表示” を **する** に設定して表示することもできます。

☞ 「**■ エコドライブ情報の設定をする場合**」
181ページ



(例)エコドライブ



■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合

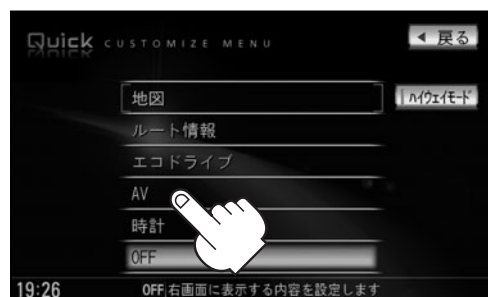
AV ボタンをタッチする。

：右画面にオーディオ画面が表示されます。



オーディオ画面表示は **MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → ▼ 6回タッチ (“その他設定” を表示) → “右画面AVを表示” を **する** に設定して表示することもできます。

☞ 「表示項目の設定を変える」196～198ページ



(例)オーディオ画面



右画面に地図／情報を表示する(3)

右画面AV(オーディオ画面)の表示内容は下記に示す通りとなります。

※右画面AVのとき、パネルの **TUNE/TRACK** ボタン(◀▶)で早送り／早戻しをしたり、好きなトラックや放送局を選んだり、 **VOLUME** ボタン(▼▲)で音量調整をすることができます。

□ ナビ+CDの場合



□ ナビ+Music Rackの場合



□ ナビ+SDの場合



□ ナビ+USBの場合



□ ナビ+iPodの場合



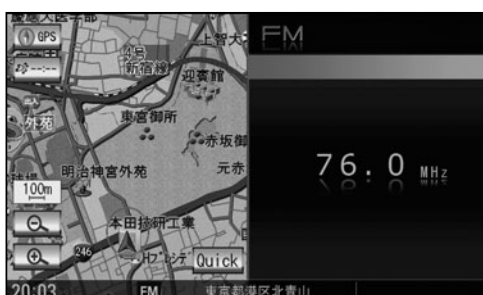
：iPodビデオの場合、走行中は音声のみとなります。

□ ナビ+DVDの場合



※走行中は音声のみとなります。

□ ナビ+AM/FMの場合



□ ナビ+VTRの場合



※走行中は音声のみとなります。

□ ナビ+Digital TVの場合

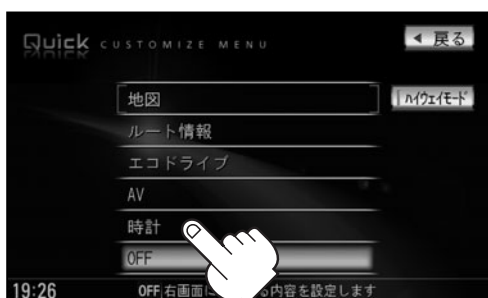


※走行中は音声のみとなります。

■ 右画面に時計を表示する場合

時計 ボタンをタッチする。

：右画面に時計が表示されます。



(例) 時計画面



■ 右画面表示を止める場合

OFF ボタンをタッチする。

：全画面表示に戻ります。

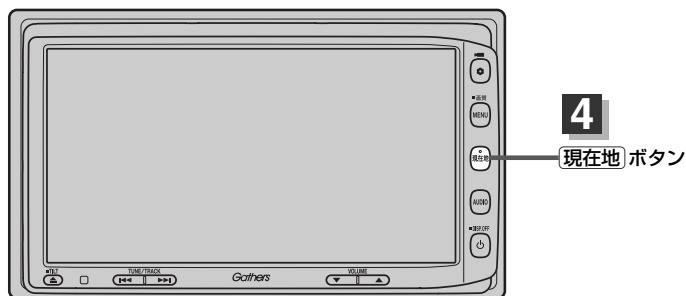


アドバイス

- **MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **▼** (6回タッチ) → 右画面にAVを表示する で設定することもできます。 [?] 「右画面地図表示の内容を設定する」 190、191ページ
- REC(録音)中でも右画面AV表示にすることができます。
- 右画面AV(ナビ+DVD)の場合、DVDの初期設定でアスペクト比を“16:9”に設定していても、その比率で表示されません。
- 右画面AVの場合のオーディオのモードの操作はパネルの **AUDIO** ボタンを2回押してモードを表示させてお好きなモードボタンを選択して変更してください。
- 別売のリア席モニターを接続している場合、リア席モニター側ではDVDとテレビモードの時、右画面AVは表示できません。

Quick MENUの設定を変える

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。



- 1 現在地表示時に **Quick** ボタンをタッチして、**Quick設定** ボタンをタッチする。
: Quick MENU設定画面が表示されます。



- 2 表示したい項目を選択する。

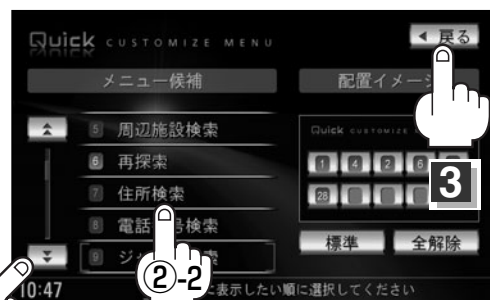
例 周辺施設検索と住所検索を入れかえたい場合

- ①左側のメニュー候補より **周辺施設検索** ボタンをタッチする。

- ②左側のメニュー候補より **▼** ボタン→ **住所検索** ボタンをタッチする。



現在設定されているメニューの配置イメージが表示されています。



アドハイス

- 手順 **2** ですでに設定した項目が10個ある場合は“登録可能件数を超過しました。”と表示されます。
- 全解除** ボタンをタッチすると選択中のQuick MENUを解除します。
- Quick MENUの設定をお買いあげ時の状態に戻す場合は **標準** ボタンをタッチします。
- ▲** / **▼** ボタンでページ戻し / 送り表示。

3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチする。

：設定を保存し、地図画面に戻ります。

4 **現在地** ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

Quick ボタンをタッチすると・・・

：設定した項目が表示されます。



(例) Quick MENU



※走行中操作できないボタンは暗くなります。

Quick MENUに追加できる機能

標準 ボタンをタッチ	目的地	ルート	情報
自宅 案内スタート/ストップ 渋滞予測回避 再探索 地点を登録 右画面表示 周辺施設検索(周辺)	住所検索(住所) 電話番号検索(電話番号) ジャンル検索(ジャンル) 登録地点検索(登録地点) 目的地履歴検索(履歴) 郵便番号検索(郵便番号)	ルート編集 全ルート表示 登録ルート	VICS表示設定 受信番組設定(受信番組) VICS文字情報(文字情報) VICS図形情報(図形情報) 渋滞地点 ETC情報
NAVI設定	()内：Quick MENU表示時の項目名		
登録地点編集 地図表示設定 ルート案内設定 カーマーク設定 エコドライブ情報 音声案内設定(音声案内)			


音声案内について

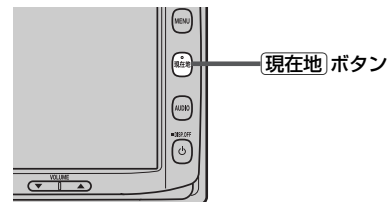
音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経路地に近づくと“まもなく経路地付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- デモ走行時、細街路の音声案内をしますが、実際の走行では細街路の音声案内はしません。



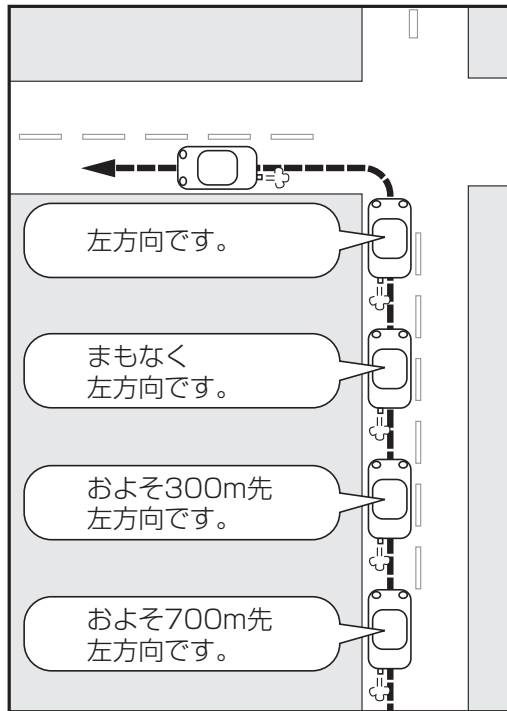
アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は、 「音声案内の音量を調整／案内設定をする」223ページをご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などにしたがってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合
現在地 ボタンを押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。
「**■ 音声案内を止めるには**」223ページで **消音** ボタンを選択している場合は、**現在地** ボタンを押しても音声案内を聞くことはできません。

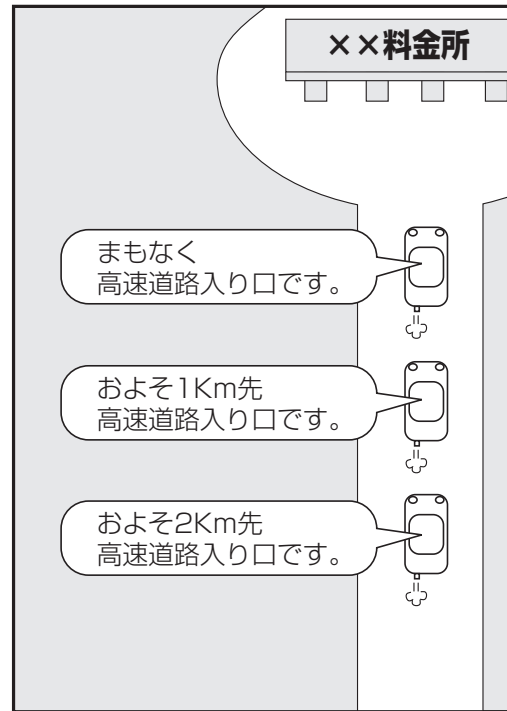


目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づく自動的に音声で案内が流れます。

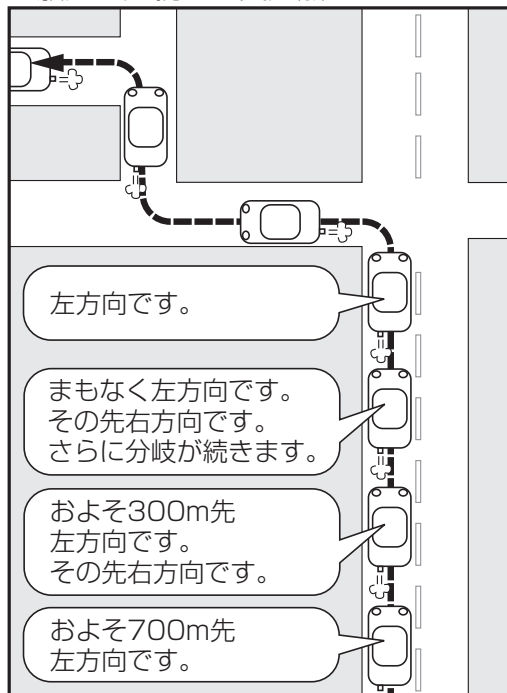
一般道の交差点



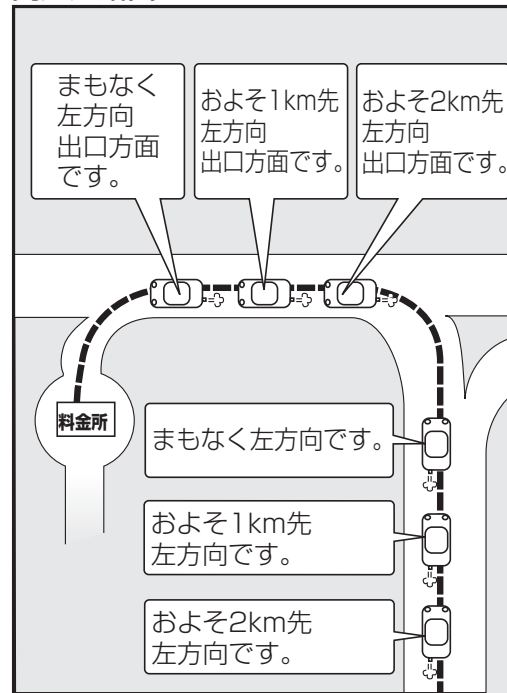
高速道路入口



一般道の連続した交差点



高速道路出口およびジャンクション



※連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

ここだけ読んでも使えます

【音声案内について】

